

令和2年度 事業報告

I. シルバー人材センター事業

1. 事業概要

令和2年度は、事業目標の達成を目指し、努力してまいりましたが、各項目で令和元年度実績を下回る事業結果となりました。

事業実績の数値は下記のとおりですが、登録正会員数では、480名で前年度と比較して43名の減となり、率にして、8.2%減少しました。これは、病気や他で就業したことにより退会する会員が増加し、一方では年金受給開始年齢の引き上げに伴う企業における継続雇用・定年延長などの影響により入会希望者が減少したことによるものであります。

受注件数合計では3,420件、前年対比で664件、率にして16.3%の減、受注金額合計では前年対比2,180万円、率にして11.4%の減となっております。

また、安全就業に関しては、事故・災害ゼロを目指し最重点課題として取り組みを進めましたが、物損事故3件、人身傷害事故1件が発生し、災害ゼロとはならず、今後課題を残す残念な結果となりました。

令和2年度の主な事業実績

項目	令和2年度	令和元年度	差引増減数	増減率 (%)
登録正会員数 (人)	480	523	△43	△8.2
受注件数 (件)	3,420	4,084	△664	△16.3
就業延日人員数 (人日)	36,040	41,124	△5,084	△12.4
受注金額 (千円)	169,761	191,585	△21,824	△11.4
就業率 (%)	80.8	84.9	△4.1P	△4.8

また、公益社団法人北海道シルバー人材センター連合会室蘭市事務所として、実施しましたシルバー派遣事業の令和2年度の受注実績

項目	令和2年度	令和元年度	差引増減数	増減率 (%)
受注件数 (件)	6	12	△6	△50
就業延日人員数 (人日)	1,693	1,907	△214	△11.2
受注金額 (千円)	10,515	11,635	△1,120	△9.6

(注) シルバー派遣事業は、道シ連が受注する仕組みのため、件数・金額とも室蘭市シルバー人材センターの実績には含まれていません。

2. 事業実施状況

(1) 事業の普及啓発と就業機会の拡大

- ① センター会報「ふれあい」を年4回発行し、会員の意識高揚と連帯感の助長を図り、併せて関係機関・団体や企業等にも配布し、事業の啓発を図りました。
- ② 事業普及啓発と会員募集を兼ねたチラシを作成し、市広報紙を通じ市内全戸への配布をするとともに、ホームページの公開、FMびゅーのCM、道南バス車体に広告看板を掲示、地元新聞への記事掲載など、各種媒体の協力を得て、事業の普及啓発と就業拡大に努めました。
- ③ 例年、事業普及啓発促進月間の中核事業として開催していた「シルバーフェスティバル」はコロナウィルス感染拡大の影響により、中止といたしました。公共施設や町会館等への啓発ポスターの掲示、市内スーパーでの街頭啓発等シルバー事業の普及啓発を図ることができました。

(2) 会員の増強と知識・技能の向上

- ① 健康で就業意欲のある会員の入会促進を図るため、各所でポスター掲示などの啓蒙宣伝を行うとともに、地区懇談会や会報を通じて会員の協力もいただく中で毎月の入会説明会開催により、入会促進に努めました。
- ② 就業に必要な知識・技能を習得し向上させるため、独自講習会を開催しました。

◎講習

☆草刈り安全講習会A	5月 7日	(1日間)	10名参加
☆草刈り安全講習会B	5月11日	(1日間)	11名参加
☆草刈り初任者安全講習会	5月12日～14日	(3日間)	14名参加
☆草刈り安全講習会C	5月28日	(1日間)	12名参加
☆剪定作業安全講習会	6月16日	(1日間)	11名参加
☆草刈り安全講習会	6月16日	(1日間)	16名参加

- ③ 「会員継続確認書」の全会員からの提出を求めるとともに、会員の意向把握に努めました。

(3) 安全就業対策の推進と健康増進

- ① 安全委員会を年5回開催し、事故の未然防止に向けた諸活動の推進、事故事例の分析や対策などについて協議し、事故防止と安全確保に努めました。
- ② 役員・安全委員にも参加を求めて安全パトロールを実施し、就業先での作業環境の把握と安全指導に努めました。
- ③ 会員対象の「安全宣言大会」を開催し、安全意識の徹底を互いに誓い合いました。
- ④ 7月の「安全・適正就業強化月間」には、2回の特別安全パトロールを実施し安全就業の徹

底を図るとともに、安全標語の募集など各種の安全啓発活動を行い安全意識の高揚に努めました。

- ⑤ 講習会、新入会員説明会、定時総会等を通して安全就業の徹底と健康管理についての啓発に努めました。

(4) 組織の機能強化推進と事務局体制の充実

- ① 全会員対象の地区別懇談会はコロナ禍により開催を断念しましたが、全会員対象としたアンケート調査を実施し、今後の会員拡大と会員と事務局との意思疎通に努めました。
- ② 事務局職員は上部団体等が実施するオンラインを中心とする各種研修会・講習会に積極的に参加するとともに、センター連絡会などを通して資質の向上に努めました。
- ③ 慶弔規程に基づき慶弔事業を行い、会員の福利厚生を図りました。

(5) 室蘭市中小企業センター・胆振地方男女平等参画センターの管理運営

両施設とも、基本協定書等の契約に基づき指定管理者として責任と主体性をもって適正な管理運営に努めました。

(6) 関係機関・団体との連携強化

北海道及び室蘭市、室蘭公共職業安定所や、全シ協、道シ連等の関係機関・上部団体とは連携を密にし、とくに道シ連・道南ブロックに属する他のシルバー人材センターとは交流と協力関係構築に努めました。